



## フナヤウフトゥマ

フィンランドは、ミツバチが蜜を集める最北の地。フィンランドの豊かな自然が育む花々の蜜によって、特徴的なフィンランド・ハニーが生まれます。

社名のフナヤウフトゥマの「フナヤ」とは、フィンランド語ではちみつの意。

「ウフトゥマ」は直訳すると連合会社の意ですが、契約生産者との共勤によって成り立っている会社という意味合いで使っています。

フナヤウフトゥマは1969年、養蜂家たちのグループにより設立されました。設立の大きな目的は二つ。一つはハチミツの販売を効率化すること。もう一つは、養蜂に必要な道具類を幅広いレンジで販売することでした。創立当初の本拠地はトイヤラでしたが、1973年に現在の所在地であるロイマー市コヨンクルマに移転。フィンランド南西部は国内でも養蜂が最も盛んな地域であり、現在のフナヤウフトゥマはより多くの養蜂家たちに寄り添ったロケーションにあると言えます。遠隔地の養蜂家顧客へも、メールオーダーサービスを通じてハチミツの集荷、ミツバチたちの冬期の餌となる糖液配給デリバリーなどの注文に対応しています。

### 伝統結晶はちみつ 200 g



フィンランド産はちみつは、比較的早く結晶化します。

結晶化するはちみつというのは通常、柔らかく細かい結晶になるよう攪拌されているものなのですが、フナヤウフトゥマの伝統的な結晶はちみつは、フィンランド産はちみつを自然にありのままに結晶化させたものです。この結晶化した濃く固いはちみつは、スプーンで簡単にすくい取ることができ、口に含むととろりと溶ける、昔ながらのはちみつです。